

環境省の令和6年度予算案

1. GOSATシリーズの開発・運用等

R6予算案 2,628,000千円
R5補正予算額 990,000千円

- 温室効果ガス観測技術衛星GOSATシリーズによる地球大気全体の二酸化炭素、メタン濃度の継続監視
- 平成30年10月に打ち上げたGOSAT-2の観測運用の継続
- 温室効果ガス観測の高度化及び衛星データ利活用の拡大を目指したGOSAT-GWの開発・打上げ
- GOSATシリーズデータを活用した排出量検証手法の実証と国際展開

2. GOSATシリーズの観測データ処理等

R6予算案 1,588,000千円

- GOSAT、GOSAT-2観測データの処理
- 温室効果ガスの濃度分布や地域ごとの吸収・排出量等のプロダクト及びその関連情報の保存、外部提供
- GOSAT、GOSAT-2の実績・経験を踏まえた3号機観測データ処理システムの製造

3. その他 衛星データの環境政策への利活用

R6予算案 2,000,280千円

- 地球環境保全試験研究費
 - ◆ 海洋CO2吸収量評価の精緻化を目指した低次生態系・炭酸系の広域観測
- 北西太平洋地域海行動計画推進費
 - ◆ 海洋の富栄養化問題の解決に向け、赤潮・有害藻類のモニタリング等
- 再生可能エネルギー資源発掘・創生のための情報提供システム整備事業
 - ◆ 全国の太陽光発電設備の設置状況等調査を、衛星画像を用いたAI解析等により実施 等

計 7,206,280千円 (R6予算案 6,216,280千円、R5補正 990,000千円)

GOSATシリーズの開発・運用等

令和6年度予算案 2,628,000千円
(令和5年度補正予算額 990,000千円)

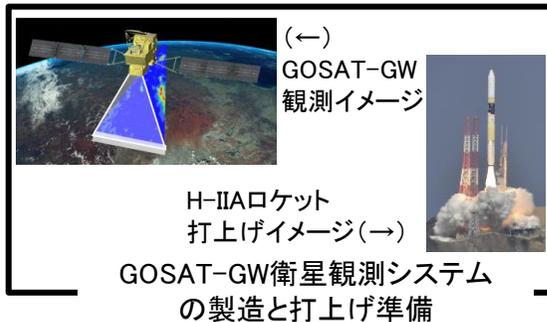
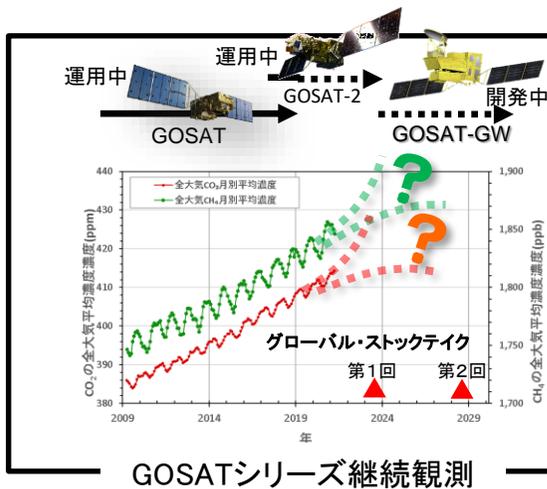
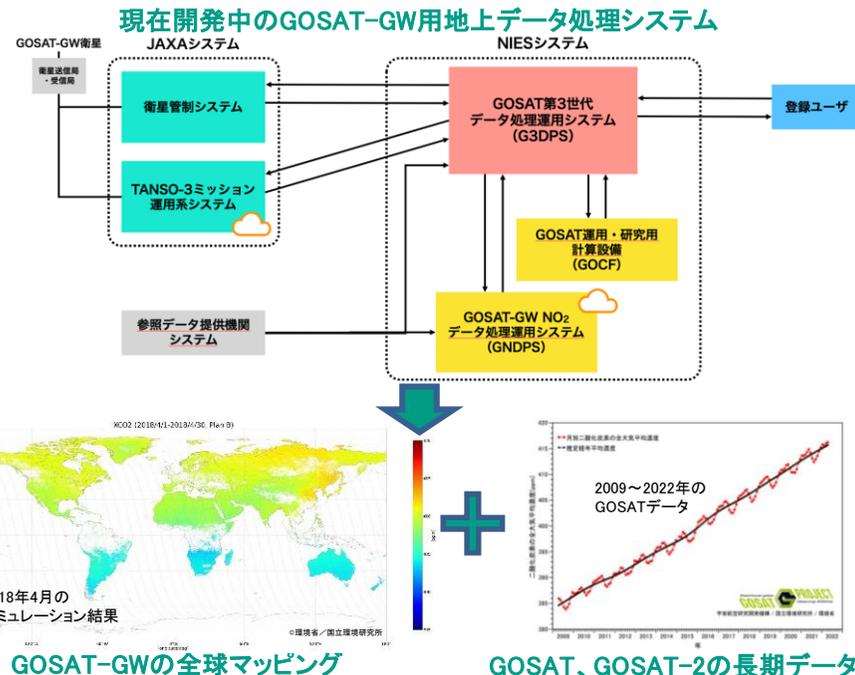
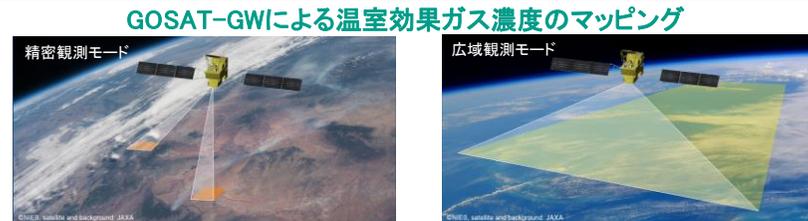


Image courtesy of MOE, JAXA and NIES

- GOSAT及びGOSAT-2の運用を継続的に実施し、3号機(GOSAT-GW)の開発を進め、令和6年度の打上げを目指す。
- GOSATシリーズの観測データを用いた排出インベントリとの比較検証を、中央アジアを中心に国際展開を促進する。

GOSATシリーズの観測データ処理等

令和6年度予算案 1,588,000千円



- GOSAT及びGOSAT-2のプロダクトを作成しユーザへ提供するための地上データ処理システムの運用を継続する。
- GOSAT-GW用の地上データ処理システムの試験と計算機設備を導入し、打上げ後に初期運用を開始する。

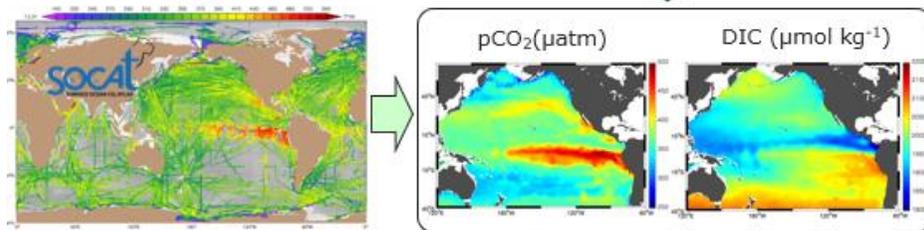
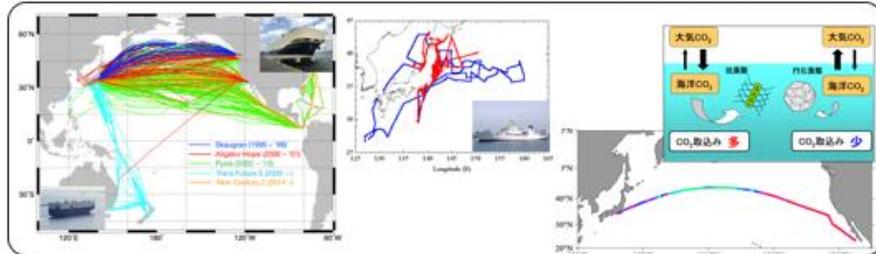
その他 衛星データの環境政策への利活用

令和6年度予算案 2,000,280千円

(例) 地球環境保全試験研究費

■ 海洋CO2吸収量評価の精緻化を目指した低次生態系・炭酸系の広域観測

沿岸域～外洋域の海洋生態系・炭酸系観測と関係性把握



- 海洋生態系を介した、気候変動による海洋炭素吸収等へのフィードバックを評価する。
(衛星観測データから算出した海面水温、クロロフィル濃度等を活用。)

(例) 再生可能エネルギー資源発掘・創生のための情報提供システム整備事業

■ 再生可能エネルギー情報提供システム(REPOS)



■ 各種支援ツール

促進区域検討支援ツール



■ 全国太陽光発電設備

導入状況・導入可能性調査



- 再生エ導入に資する情報を調査し、地方公共団体・事業者・国民による再生エ導入を促進する機能を有する情報提供システムを整備する。
(衛星画像による太陽光発電設備設置状況把握。)